

現地調査報告 (宮城県)

行程等

● 実施日

令和7年10月10日（金）

● 参加者

今村委員長、白波瀬委員長代理、浅野委員、奥野委員、関委員、山崎委員（6名）

※ 復興庁及び宮城県庁の職員が随行。

● 訪問先

宮城県南三陸町、石巻市及び名取市

● 行程

- ① (社福)南三陸町社会福祉協議会 結の里
（被災者支援関係）
- ② 宮城県南三陸高等学校
（地方創生関係）
- ③ 石巻市震災遺構 門脇小学校
（震災の記憶と教訓の継承関係）
- ④ かわまちてらす関上
（ブルーツーリズム推進支援事業関係）



結果概要

① (社福)南三陸町社会福祉協議会 結の里

<概要>

南三陸町から被災者支援事業（仮設住宅支援・災害公営住宅支援）の実施経過や今後の方向性について、社会福祉法人南三陸町社会福祉協議会 結の里からその構想・設立経緯やその取組・特色、今後の課題等についての説明を聴取の上で意見交換を実施した後、施設内を視察。

<主な内容>

- 住民意識の変化と同協議会の持続的な活動のために重要な視点
- 本取組の全国展開の可能性と経験・ノウハウの継承に向けた課題
- 地域住民等の参画を促進するリーダーシップと情報発信の重要性
- 震災を契機とした交流人口の拡大に向けた取組



結の里における意見交換



結の里における施設視察

② 宮城県南三陸高等学校

<概要>

南三陸高校及び南三陸町から、町と連携した同校の高校魅力化プロジェクトの取組（地域学・地域探求学等の独自カリキュラムの導入、魅力化コーディネーターの設置、ICTをフル活用した公営塾の開設、県外生向け学生寮の整備・運営等）について説明を聴取し、意見交換を実施。

<主な内容>

- 町を課題解決の場として設定し、グローバルな視点とローカルな視点の両方を持つ生徒の育成
- 県外から入学を希望する生徒の動機や関心事項と周囲への好影響
- 生徒の主体性の発揮と地域の協力による地域行事への参加の実現
- 教員の負担軽減と持続可能な体制実現に向けた学校と地域の連携



南三陸高校における意見交換

結果概要

③ 石巻市震災遺構 門脇小学校

<概要>

石巻市震災遺構 門脇小学校の解説ガイド等から、津波で流された石巻市の車両や同市、同校の被災状況、避難状況等の説明を聴取した後、津波と津波火災の痕跡をとどめる校舎や展示館における各種展示、復元された応急仮設住宅を視察し、意見交換を実施。

<主な内容>

- 科学的根拠に基づく展示や外国語による情報発信の重要性
- 修学旅行や社員研修、外国人観光客等向けの防災意識の啓発
- 被災体験の記憶を芸術で表現した展示による震災の理解醸成
- 震災を経験していない世代への震災の記憶と教訓の継承
- 被災地に関心の高い海外の研究者等を対象とした更なる情報発信



門脇小学校における展示視察



門脇小学校における意見交換

④ かわまちてらす関上

<概要>

名取市から、水辺を身近に感じるコンテンツの造成や地元海産物の食体験を通じた、ブルーツーリズム推進支援事業の概要について説明を聴取し、意見交換を実施。また、施設内の商店等の状況を視察。

<主な内容>

- 外国人観光客や市外からの来客の増加に向けた取組の重要性
- 周辺施設と連携した取組や情報共有による集客力の更なる強化
- 同市が実施したアンケート調査の結果を踏まえた事業内容の改善



かわまちてらす関上における視察